

西洋薬との併用では時間をずらす必要も

Q 六十七歳、女性。高血圧症と胃潰瘍（いかいよう）のためニフェジピンや抗潰瘍薬を服用しています。体がだるいので漢方薬を希望したところ、漢方薬にはグレープフルーツのような成分が入っているかもしれないから服まない方がよいと言われました。どういう意味でしょうか。また西洋薬と漢方薬を同時服用する際の注意点を教えてください。

A 漢方薬といわゆる西洋薬の相互作用に対する情報が増えている。質問者の場合、ニフェジピンとグレープフルーツを併用するとニフェジピンの代謝に影響し、結果的にニフェジピンの降圧剤としての効果が増強される、という医薬品情報からの注意であろう。

漢方薬の中の枳実（きじつ）Ⅱ未熟なミカンの実全体）や陳皮（ちんぴ）Ⅱミカンの皮を乾燥させたもの）などの中にあるフラボノイド類はグレープフルーツと同様に作用するので、カルシウム拮抗（きっこう）剤を同時に服用するのは望ましくない。また胃潰瘍治療薬は胃内をアルカリ性に傾けるので、麻黄（まおう）や附子（ぶし）などを含む漢方薬を同時に服用すると、漢方薬のアルカロイド成分の吸収率が高まる可能性がある。漢方薬と西洋薬は同時に服用すると吸収や代謝に関する相互作用が起こりうるものがある。そこで、例えば漢方薬は食間に、西洋薬は食後に、または一時間くらいあけて服用するなど、消化管で漢方薬と西洋薬が直接かち合わないよう服用するよう指導している。